

●南砺市の財政指標

財政指標とは、自治体の財政状況を分析するための指標です。

平成24年度決算に基づく、主な財政指標から、南砺市の状況をご覧ください。

<NANTOくんによる分析>



① 財政力指数

<自分で調達できる財源に余裕はある？>

0.395
H23 0.384
H22 0.402



H24富山県市町村単純平均→0.544

【何を表す？】標準的な行政を行うのに必要な経費を、どれだけ市税等の収入でまかなえるか。

【どう見る？】数値が1に近いほど、自分で調達できる財源の割合が高い。

※数値が1を下回る団体は普通交付税が支給される交付団体となる。

【南砺市は？】税収の減少等により、依存財源（国や県の配分による財源）に頼る度合いが高い傾向にあります。

② 経常収支比率

<建設事業などに取り組む余裕はある？>

84.4%
H23 78.2%
H22 80.5%



75%程度→適正、80%以上→要注意

【何を表す？】毎年決まって入ってくる収入（市税・地方交付税など）が、毎年決まって出て行く支出（人件費・借金返済など）にどれだけ充てられているか。

【どう見る？】数値が低いほど、決まった支出に充てる割合が低く、建設事業など一時的に財源が必要となる事業に取り組む余裕がある。

【南砺市は？】平成23年度と比較して、毎年決まって入ってくる収入（市税・普通交付税など）が減少したため上昇しました。職員数の適性化や公共施設の再編など効率的な行政運営に努め、一層のコスト削減を図ります。

③ 実質赤字比率

<赤字の大きさはどれくらい？>

—
(赤字なし)
H23 —
H22 —



12.18~20%未満→黄色信号、20%以上→赤信号

【何を表す？】普通会計（南砺市の場合、一般会計+バス事業特別会計）の赤字が、標準的な収入に比べてどのくらいの大きさか。

【どう見る？】数値が高いほど、資金不足の深刻度が高く、より多額の収入確保や支出削減が必要となります。（赤字の場合、正の値になります。）

【南砺市は？】黒字決算のため、実質赤字比率はありません。
ちなみに実質黒字比率は7.17%（H23：7.07%）です。

④ 連結実質赤字比率

<南砺市全体の赤字の大きさはどれくらい？>

—
(赤字なし)
H23 —
H22 —



17.18~30%未満→黄色信号、30%以上→赤信号

【何を表す？】全会計の赤字が、標準的な収入に比べてどのくらいの大きさか。

【どう見る？】数値が高いほど、資金不足の深刻度が高く、より多額の収入確保や支出削減が必要となります。（赤字の場合、正の値になります。）

【南砺市は？】黒字決算のため、連結実質赤字比率はありません。
ちなみに連結実質黒字比率は24.80%（H23：23.89%）です。

⑤ 実質公債費比率

<借金返済に追われてない?>

10.1%
H23 12.4%
H22 14.3%



25~35%未満→黄色信号、35%以上→赤信号

【何を表す?】標準的な収入が、どれだけ借金返済に充てられているか。

【どう見る?】数値が高いほど、借金返済以外の施策に使えるお金が少ないので、他の経費を節約しないと赤字になる恐れがある。

【南砺市は?】以前から返済期限前の借金返済を行っていたため、返済すべき借金が減少しており、毎年数値が下がっています。

⑥ 将来負担比率

<将来の財政は圧迫されない?>

(なし)
H23 2.9%
H22 26.7%



350%以上→黄色信号

【何を表す?】将来、必ず負担することになる借金・職員の退職金などの負債が、1年間の標準的な収入の何倍あるか。

【どう見る?】数値が高いほど、将来財政が圧迫される可能性が高い。

【南砺市は?】借金残高が少ない訳ではありませんが、その返済に充てることができる貯金や、返済を国が補う(普通交付税として交付される)額が多いため、将来負担はありませんでした。
また、以前から行っていた返済期限前の借金返済も数値低下の要因です。

⑦ 資金不足比率

<公営企業は健全?>

(対象公営企業
会計不足なし)
H23 -
H22 -



20%以上→黄色信号

【何を表す?】病院や水道、下水道などの公営企業会計の資金不足額が、営業収益(事業規模)に比べてどのくらい大きいのか。

【どう見る?】数値が高いほど、資金不足の深刻度が高く、経営状況の悪化を意味します。
(資金不足の場合、正の値になります。)

【南砺市は?】どの公営企業会計も資金不足ではなかったため、資金不足比率はありません。

※ ③実質赤字比率、④連結実質赤字比率、⑤実質公債費比率、⑥将来負担比率は「健全化判断比率」といい、⑦資金不足比率とともに自治体財政の健全性を示しています。

「健全化判断比率」

黄色信号の値は、早期健全化基準を超えていることを示しています。1つでも早期健全化基準を超えると財政状況が悪化していると判断され、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。

赤信号の値は、財政再生基準を超えていることを示しています。1つでも財政再生基準を超えると財政状況が著しく悪化しており、自主的な財政健全化は困難であると判断され、国等の関与により確実な財政再生が図られます。

「資金不足比率」

黄色信号の値は、経営健全化基準を超えていることを示しています。この基準は健全化判断比率における早期健全化基準に相当します。